



みんなの回生

題字揮毫
元県知事・前川忠夫



- 医療の話 - 膝の治療その③ 再生医療スタート …… 2・3
- 食物アレルギーについて …… 4・5
- 患者相談窓口について …… 6

回生病院理念

皆さまに愛され信頼される病院を目指します

回生病院基本方針

- 一、私たちは質の高い医療を提供します
- 一、私たちは保健・医療・福祉と連携を図ります
- 一、私たちは予防医療の充実に努めます

患者さまの権利と責務

- 一、患者さまには、最善で公平な医療を受ける権利があります
- 一、患者さまには、医療内容について十分な説明と情報を受ける権利があります
- 一、患者さまには、医療行為について選択・同意・拒否する権利があります
- 一、患者さまには、個人情報を保護される権利があります
- 一、患者さまには、自らの健康に関する情報を提供する責務があります
- 一、患者さまには、病院の規則を守る責務があります

2023年
303号



社会医療法人財団 大樹会 総合病院 回生病院
坂出市室町三丁目5番28号
回生病院ホームページ <http://www.kaisei.or.jp/>

☎ 0877 (46) 1011 (代)
夜間の受付も行っています。



医療の話—膝の治療その③ 再生医療スタート！

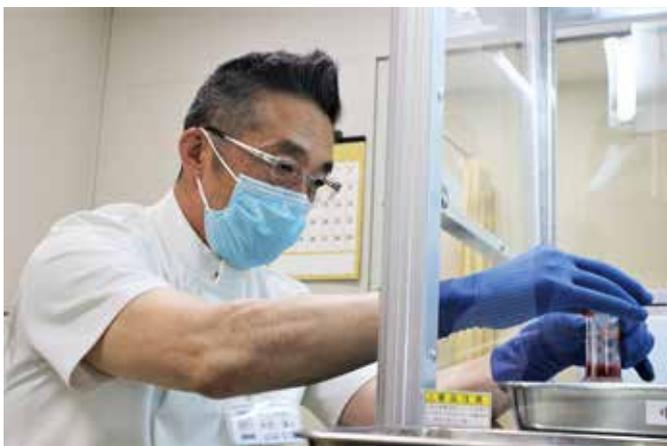
整形外科 統括部長 衣笠 清人

ある程度以上悪くなった膝関節の治療には手術療法が必要になります。しかし、どうしても手術がイヤであるとか、なんらかの理由で手術ができない患者様も多数いらっしゃいます。現在そういう方には再生医療（ASCまたはAPS、PFC-FD）をお勧めしています。

2023年新年号で膝関節に対する再生医療についてひととおりご説明いたしました。そして当院では再生医療法に基づいた認可を受けた後、昨年から粛々と準備を進め昨年12月から実際に患者様に治療を始めました。自由診療であるため自己負担額がかなり高額になりますので、そう多くの患者様に行えてはいませんが、約半年間で16膝に対してASC 10膝、APS 6膝の加療を行いました。

施行後は1・3・6・12ヶ月後に経過をチェックしています。3ヶ月チェックまで終えたASC 6膝、APS 6膝について、痛みの軽減評価として簡便でわかりやすいVAS（Visual Analogue Scale /治療前の痛みを10として現在の痛みがどれぐらいかという主観的評価）を用いますと、ASC/10→2.0、APS/10→2.7と良好な成果が得られています。まだ施行数が少なく、データとしての信頼性には欠けますが一応の目安にはなりそうな印象を持っております。それぞれ施行数が100例に達すればより信頼できる情報をお知らせできると考えています。

再生医療は膝疾患がある程度進行した方でも選択肢の一つとして考慮してよい治療法だと思いますので、膝の痛みでお困りの方はぜひ一度、整形外科外来までご相談ください。



再生医療施行前後の膝の変化について

50代女性 M.Iさん



令和4年5月頃から徐々に右膝痛が出現しましたが、生活に支障のない程度でした。翌月、膝に負担をかける行動が原因で痛みが増強し、正座が出来なくなり、走れない、階段の上り下りに時間がかかるなど、日常生活に困難が生じる様になりました。昨年、再生医療を受けました。

その後は、徐々に膝の痛みを感じる場面が少なくなり、階段も時々痛くなる程度で普通に上り下りが出来る様になりました。起床時には、何かにつかまらなると立上れなかったのですが、いつの間にか座った状態からの立上りや、踏み込んだ時の膝の内側の痛みも全く感じなくなりました。

膝の曲げ伸ばしもスムーズに行える様になり、長時間の歩行も走る事も出来るようになり、ほぼ通常の日常生活が送れるようになりました。

再生医療について

60代女性 S.Sさん



私は左膝に問題があり、痛みも結構強く痛みを取るためには手術しかないと言われてきました。

でも、手術すれば悪くないところまで傷つけるし、手術後完治するという保障もなく、できれば手術は避けたいと思っていました。

そんなときに新聞で衣笠先生の再生医療という文を読み、すぐに診察していただきました。まだ十分なデータがなく、未知数との事でしたが、先生のお話をうかがい、再生医療にかけてみようという気持ちになりました。

おへそのまわりから脂肪を採取し、幹細胞を培養増殖させて一ヶ月後に膝に注入するという治療法です。痛みなどはないのですが、自由診療なので自己負担額が高額となり、少し悩みましたが、手術したとしても入院したりしてかなりの額が必要になり、痛みもあると思い再生医療にかけてみることにしました。

まだ、幹細胞を膝に注入して時間が経っていないですが期待しています。

費用への面でも、もう少し手軽になればどんどん再生医療にかけられる人が出てくると思います。

再生医療がもっともっと進化してたくさんの方が健康な生活が送れる日々がくればいいなあと思います。

私の場合、先生並びにまわりのスタッフの皆様もとても親切にくださり、本当に良かったと思っています。

選択肢のひとつとして再生医療がたくさんの人に知ってもらえたらいいなあと思います。

再生医療を受けてみた

60代男性 K.Sさん



昨年10月に左膝を傷めて、左膝関節痛が出現するようになった。整形外科の外来で、半月板損傷と軽い変形性膝関節症との診断で、関節注射を受けるようになった。隔週でヒアルロン酸の関節注射を受け、どうにかやっていたが、東京への学会出張時に激痛が出現し、足を着いて歩けなくなった。出張先で関節注射を受け松葉杖でなんとか帰ってきたが、その後も痛みは継続するため、半月板に対する関節鏡手術を受けるか、昨年から回生病院でも始まった再生医療を受けることを勧められた。関節鏡手術よりは侵襲も少なく、根本的な原因治療にもなるため、治療費は高額ではあるが、再生医療を受けることにした。

膝の再生医療には、ASC、APSとPFC-FDといった3種類の治療がある。ASCは自己の脂肪由来の幹細胞を増殖させて、患肢の膝関節内に注入する方法で、培養した幹細胞を用いる点で最先端の治療である。APSとPFC-FDは自己血の血小板分画を利用して行う治療で組織修復因子や成長因子に期待して行われる治療である。

今回私は、ASC療法を受けることにした。治療は自分の脂肪を採取するが、臍のキズがわかりにくいところに注射による局所麻酔を行い、約3mm程度皮膚を切開して、そこから細い針で脂肪組織を採取した。さらに、採取分離した脂肪由来の幹細胞を培養増殖させるための培地として、自己血を50cc程採血された。手術は15分程度であっという間に終わり、術後の痛みも無く、傷跡も今では全くわからない。採取された組織（脂肪と血液）は、特殊な容器に入れられて、超特急便の飛行機で東京の培養室に送られる。そこで幹細胞を分離して培養増殖されるのである。その後、約1ヶ月の培養期間を経て5000万個から1億個に増殖させた幹細胞が、東京の培養室からこれまた特殊な容器に入れられた上超特急便の飛行機で回生病院に送られてくることとなる。高価な治療費は、保険の効かない自由診療であることにもよるが、輸送と培養に多大な費用がかかることが大きい。培養された幹細胞は注射器に5cc程度で、これを患肢の膝関節内に注射して治療は終了した。その後は、患部で軟骨や半月板となって行き、傷めた組織が修復されて約3ヶ月で痛みも無くなった。



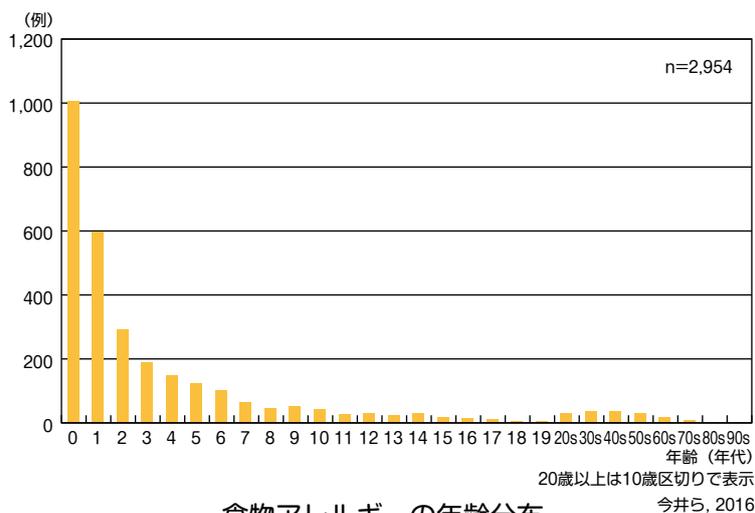
食物アレルギーについて

小児科 課長 澤井 孝典

まだ夏の暑さの名残を感じますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。
この度はこの場を拝借して、小児科外来を受診される患者様にも少なくない食物アレルギーに関してお話をさせていただきます。

1. 食物アレルギーって多いの？

食物アレルギーは時を経て自然軽快することもあり、有症率は年齢によって異なります。乳幼児で5-10%、学童になると2.3-4.6%、成人では1-3%と報告があります。



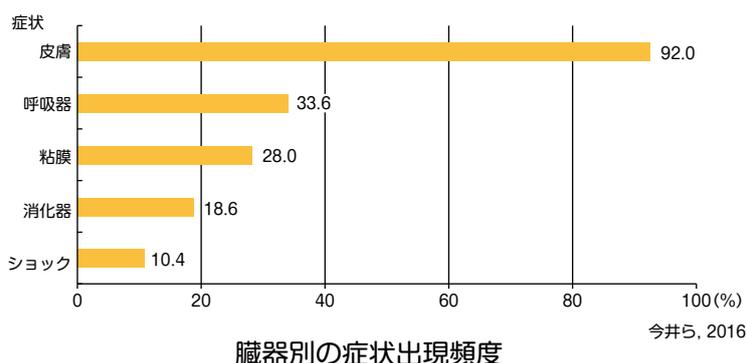
食物アレルギーの年齢分布

2. 食物アレルギーってどんな症状？

食物アレルギーの発症パターンにはいくつかあり、主にアトピー性皮膚炎と即時型症状が挙げられます。

アトピー性皮膚炎は、乳児期に主に顔面の湿疹から発症し、適切な入浴・保湿といったスキンケアでも改善が乏しく、ステロイドの外用を行っても寛解と増悪を繰り返すことがあります。食物アレルギーとの関連は深く、アトピー性皮膚炎のお子さんの約70%に食物アレルギーが認められたとされています。近年では皮膚を介した感作による食物アレルギーの発症も報告されており、皮膚炎のコントロールが不良であれば食物抗原に対する感作が起きやすいとも考えられています。

即時型症状は、アトピー性皮膚炎から移行することも多いです。摂取後2時間以内、多くは摂取直後から30分以内に症状が出現します。症状は多岐にわたり、紅斑・蕁麻疹などの皮膚症状、結膜充血・口腔違和感などの粘膜症状、腹痛・嘔吐などの消化器症状、咳嗽・喘鳴などの気道症状、活気低下・意識障害などの神経症状、頻脈・血圧低下などの循環器症状が挙げられます。



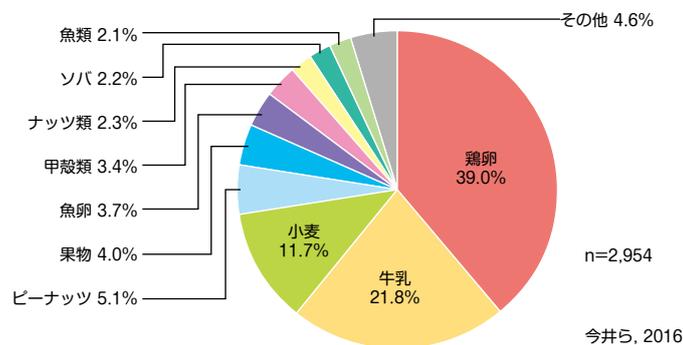
最も多いのは皮膚症状で約92%ですが、呼吸器症状も約33%と少なくなく、注意が必要です。また、症状が多臓器にわたる場合はアナフィラキシーと言われ、有病率も0.5%に昇り、食物アレルギーの中で稀な疾患ではありません。治療としてアドレナリンの筋注が必要となることもあります。

3. 食物アレルギーの原因食物は？

原因食物は、鶏卵・牛乳・小麦で約72%を占めます。以後は、ピーナッツ・果物・魚卵・甲殻類・ナッツ類・そば・魚類が続き、上位10項目が全体の約95%を占めます。

また、新規発症は、乳児期は鶏卵・牛乳・小麦が多いですが、3歳では魚卵が増えます。花粉症が増え始める学童期では、果物が増加します。以降の新規発症は、7-19歳では甲殻類が、20歳以上では小麦が第一位となり、成人期にも新規の食物アレルギーを発症することがあります。

尚、甲殻類・小麦に関しては、摂取後約2時間以内の運動負荷でアナフィラキシーが誘発される食物依存性運動誘発アナフィラキシーが中学生以降増加傾向にあります。食物アレルギーの特殊型でまれな疾患（中学生の約1/6000と報告あり）ですが、血圧や意識レベル低下などのショック症状も約50%に見られるとの報告があり、注意が必要です。



食物アレルギーの原因食物の内訳

4. 食物アレルギーの診断は？

アトピー性皮膚炎に対しては、まずは適切なスキンケアや薬物治療（ステロイドの外用など）を行っても症状が改善しない場合や、治療を中止すると症状が増悪する場合に、検査を検討します。検査には、問診などから原因と疑われる食物に対する血液検査（特異的IgE抗体など）や皮膚テスト（プリックテストなど）があります。また、原因と考えられる食物を除去してみて症状が改善する場合には、食物アレルギーの可能性を強く疑います。必要最小限の除去、スキンケア・薬物治療を継続しながら、必要に応じて食物負荷試験（実際に食べてみる）を行います。

即時型反応も同様に、問診・皮膚テスト・血液検査・経口負荷試験を経て、可能な時期に食物除去の解除を行います。

5. 食物アレルギーって治るの？

小児期発症の食物アレルギーは成長に伴い治りやすく、特に鶏卵・牛乳・大豆・小麦は治りやすいと言われています。鶏卵と牛乳は6歳までに80%近く、小麦も8歳までに約50~70%、大豆も2-3歳で約78%の方が食べられるようになると報告があります。しかし、ナッツ類や甲殻類は耐性を獲得しにくいと言われ、治りやすさは原因食物などによって異なります。

また、完全除去よりも、食べられる範囲で摂取する部分除去の方が、耐性獲得の促進が期待できると報告があります。

さいごに

当院では食物の特異的IgEの血液検査を行っています。しかし、経口食物負荷試験は当科では行っていない現状です。特異的IgEはあくまでも指標であり、診断や食べられるかどうかのチェックなどには経口食物負荷試験が重要となります。どの範囲まで食べられるか分からない、何がアレルギー症状の原因か分からないのに症状が持続する、多項目の除去が必要である、アナフィラキシーなどの強い症状が出る、などの患者様は専門機関での経口食物負荷試験が必要となることがあるため、当科から専門機関へ紹介をさせて頂くことがあります。あまりお役には立てませんが、気軽にご相談頂ければ幸いです。

患者相談窓口について

いつもはご意見箱に頂いた内容をお伝えしていますが、今号では、ご意見箱と同様に当院をご利用いただいている皆さまのご意見やご相談を直接お伺いする、患者相談窓口についてご案内したいと思います。

患者相談窓口は正面玄関から奥に進んだ中央フロア、エスカレーター下にあります。

患者相談窓口のご案内

当院では、患者・家族の皆さまからのご質問、ご相談、お悩みを伺い、不安なく治療を受けられるようお手伝いしています。

<相談内容>

- ・経済的な不安（医療費・生活費等）
- ・介護保険や身体障害者手帳等、社会福祉サービスについて
- ・施設や転院先病院について
- ・退院後の療養生活についての不安
- ・療養や生活上の心配
- ・セカンドオピニオンやカルテ開示について
- ・医療についての悩みや心配事
- ・医療安全に係るご相談・ご意見等



<担当部署>

社会福祉室
安全管理室

<担当者>

社会福祉士
看護師

相談内容について
秘密は厳守します

<受付時間>

月～金曜日

9:00～12:00
13:30～17:00

回生病院 病院長

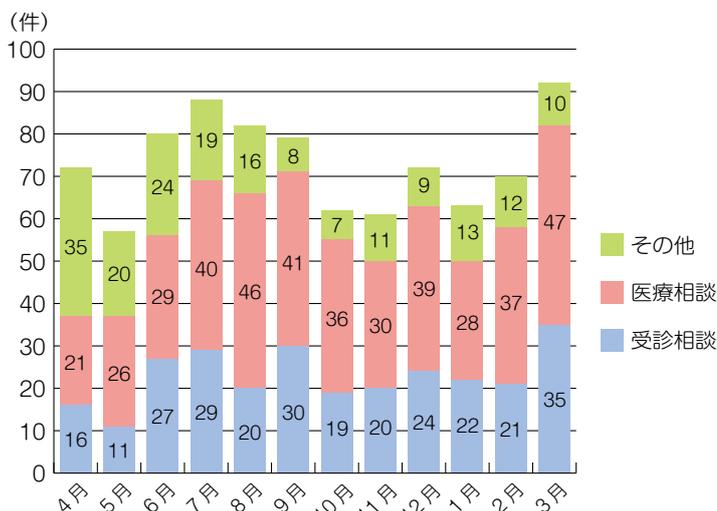


看護師もしくは社会福祉士が常駐し、ご相談をお受けしています。

窓口でお伺いした内容は院内の関連部署と共有します。内容により、院内の専門職種等に引き継ぎ、対応することもあります。

皆さま、お気軽にお立ち寄り下さい。

2022年度の患者相談窓口利用状況



2022年度の患者相談窓口利用件数

941件

うち、医療相談件数

878件